

北海道善行賞を受賞して



平成30年度 北海道善行賞（優良母子家庭）表彰式
平成30年5月16日 於 北海道庁知事会議室

当別町母子募婦会

古谷 直美

この度は、優良母子家庭として善行賞という素晴らしい賞をいただきありがとうございます。

思い返せば、17年前に主人を亡くし途方に暮れました。長女は3歳、長男は2歳、次男は私のお腹の中で、毎日生活していくのが一杯で不安でした。「この子たちを大きく育てなきゃ。」とがむしやうでました。そんな中、知人が私に

「頑張らなくてもいいんだよ。今居るだけで十分頑張っているんだから。肩の力を抜いてね。」と声をかけてくれました。私はこの一言でとても楽になりました。辛い事、大変な事、泣いた時、叱った時、笑った時など数えきれない程ありました。でも、子供の成長が何よりの励みになりました。3人の子どもは自分の進むべき道をしっかりと見つけて、各自歩んでいます。私の自慢の子ども達です。

今思えば、あつという間の17年でした。それは、私の周りで支えてくれた方々のお陰と本当に感謝したいです。特に両親と義母には心からありがとうございます。これからまだ続く人生ですが、子ども達の新たな成長を楽しみつつ、私自身の人生も楽しんでいき



必死に生きた17年間
たくましく育った3人の子ども達と

たいと思います。
「たった一度の人生だから。」

苫小牧風花の会

北澤 佳永

この度、苫小牧風花の会の推薦を頂きまして、五月十六日、北海道庁にて、阿部副知事より「北海道善行賞」の表彰状を頂きました。

突然の夫の死ではありましたが二人の娘を育てていくことで精一杯の日々をがむしやうに過ごしてきたように思います。

このように頑張つてこられたのは、周りの方々の温かい励ましや支え、そして風花の会に入会させて頂いた事で、様々なサポートを受ける事が出来、同じ環境の中で頑張つておられる皆様の姿に勇気を頂いたからこそと、改めて感謝申し上げます。

現在、長女は東京で自立し、生



謝辞を述べる北澤さん

活をしております。苫小牧におります私と障害のある次女を心配してくれる優しい女性へと成長してくれました。次女は養護学校を卒業し、今は作業所の皆様に温かく見守られながら毎日楽しく通っております。

私はフェイスナルサロンを自営していますが、仕事を通して女性の自立支援が出来るよう、また、後に続く若い方々のお役に立てるよう、これからも努力してまいります。

ありがとうございました。

平成30年度共同募金助成金は4ブロック研修会、
広報誌発行に充当させていただきます。
ご報告し、お礼申し上げます。